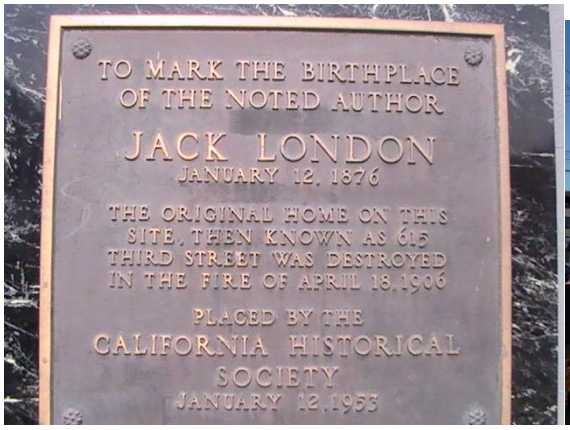
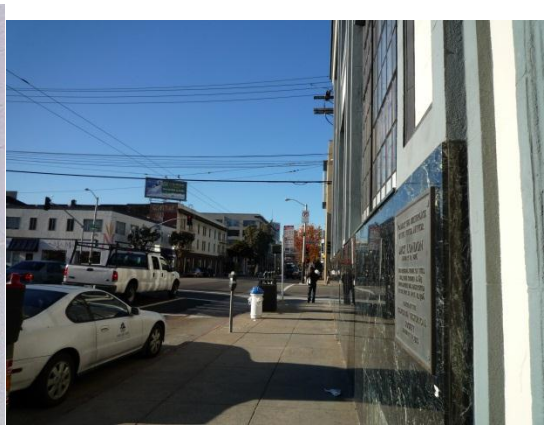
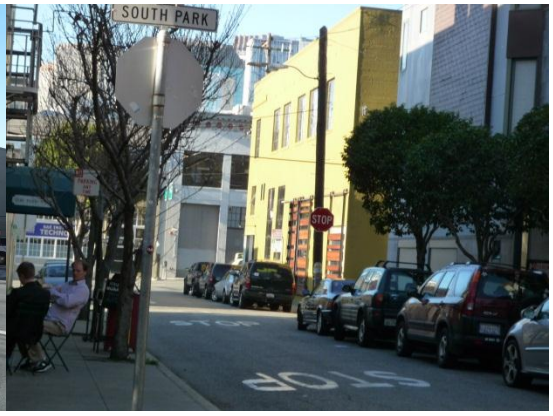
ジャック・ロンドンスポット関連画像

＊生誕の地（１８７６年、サンフランシスコ市ダウンタウン）





ジャック・ロンドンの生誕の家は、１９０６年のサンフランシスコ大震災で破壊された。



辺りは貧民街であったが、現在ではかなり近代的な建物も見られるようになっている。

＊ジャック・ロンドン広場（青少年時代、サンフランシスコの対岸のオークランド）

ファースト・アンド・ラストチャンス酒場　　イナー・ハーバーである、「エスチュアリ」

＊ジャック・ロンドンの家とその周辺（ジャック・ロンドン州立史跡公園）
（壮年期・サンフランシスコの約８０キロ北方にあるグレン・エレン）

ロンドン夫婦の家「コティジ」の外観とその室内

広大なブドウ畑「ジャック・ロンドン・ヴィネヤード」と石造りの小屋「バーン」

ロンドン夫婦の家から見えるソノーマ山　　ジャック・ロンドン州立史跡公園内の小道

カリフォルニアで最初のコンクリートサイロ　当時最新式の豚小屋「ピッグ・パレス」

農業の灌漑用とボート遊びのための「レイク」アメリカ杉でできた更衣室兼保管用の小屋

４階建ての石とセメントで作られたウルフ・ハウス「狼城」で、夫妻が入居直前に焼失した。

妻チャーミアンが夫の死後（１９１９年）に建てた「幸せの壁の家」という博物館

ジャック・ロンドンはいろいろな人々や国内外の体験をもとに多種多様なテーマの作品を残した

＊墓地（１９１６年、グレンエレン）

ソノーマ山の小高い丘の上に、彼の焼失した豪邸「狼城」の廃墟から持ってきた赤い丸石の質素な墓が、ヒル農園の開拓者の一家の子供たちの墓の近くで、ひっそりと眠っている。